

## ナゴヤサナエ

*Stylurus nagoyanus*

兵庫県：A

環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU)

### 種の概要

腹長42～46mm、後翅長33～37mm程度。腹部第7～9節が広がる大型のサナエトンボで、腹部に黄色の斑紋を有する。主に平地の大河川下流域に生息し、幼虫は流れの緩やかな岸辺の砂泥に潜っている。河口の汽水域や汽水湖にも見られる。成虫は6月～10月に見られる。



写真提供：青木典司

### 国内分布

本州、四国、九州

### 県内分布記録

佐用町、豊岡市

### 選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○

### 特記事項

佐用町の記録は山中のもので、岡山県から飛来した可能性がある。現在確実な生息場所は1つの水系だけである。そこでもこの7、8年姿が見られない状態が続いたが、2021年に再発見された。個体数は非常に少ない。砂泥がたつぷりと堆積した河川に生息する。そういった環境の河川は県内には少ない。同所的に生息していたキイロヤマトンボが姿を消したこともあり、間違いなく絶滅の危機に瀕している。

### 保護上の留意点

中・下流部の砂泥の堆積を妨げないような、上流部の河川管理が求められる。